

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：リハビリの面から見た人工膝関節置換における持続内転筋管ブロックの効果

<目的及び概要>

人工膝関節置換における持続内転筋管ブロックは筋力低下やカテーテル合併症の観点から否定的な意見も見られるが、術後の鎮痛効果に加えて、関節可動域の拡大や入院日数の短縮などリハビリ促進の観点からその効果を評価する。

<研究方法>

2023年5月から2024年12月までの間に人工膝関節置換を行い、持続内転筋管ブロックを行った患者の手術記録及び診療録からデータを取得する。主要評価項目はNRS（安静時及び体動時）、膝関節最大屈曲角度（MFxA）、歩行獲得日数、入院日数とした。統計解析にはMann-Whitney U検定およびunpaired-t検定を用いて、 $P < 0.05$ を統計学的有意とした。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

麻酔科：古賀 聡人 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151（代表）